2016年3月期
決算説明会
（2016.6.10）

不二ラテックス株式会社

（銘柄№：5199） http://www.fujilatex.co.jp/

1

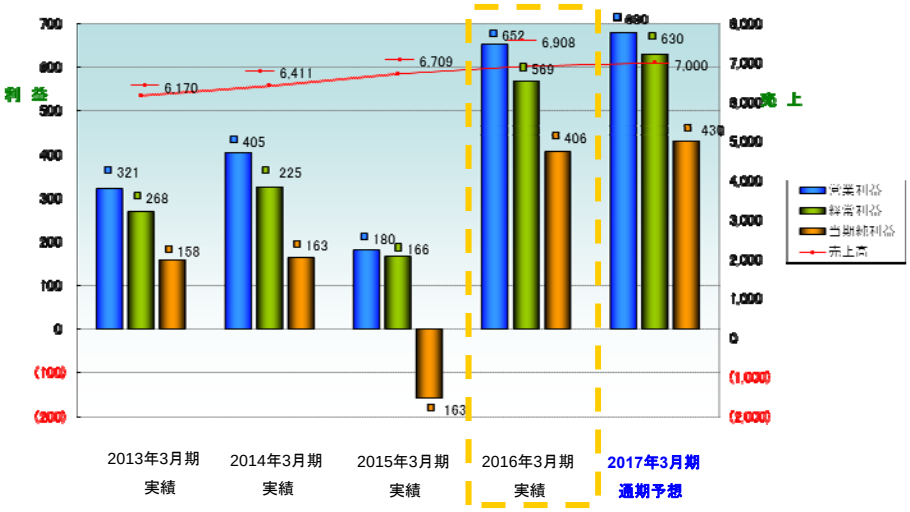
2016年3月期
決算概況

管理本部 財務部長
畑 山 幹 男

売上高・利益推移

全　社

〔単位：百万円〕



2016年3月期　業績の概況

〔単位：百万円,%〕

	2014年3月期実績		2015年3月期実績		2016年3月期 実績			
	金 額	売上高比	金 額	売上高比	金 額	売上高比	計画比増減率	前年比増減率
売 上 高	6,411	100.0%	6,709	100.0%	6,908	100.0%	−1.3%	3.0%
売上総利益	1,595	24.9%	1,467	21.9%	1,901	27.5%	29.5%	29.6%
営業利益	405	6.3%	180	2.7%	652	9.4%	29.1%	261.8%
経常利益	325	5.1%	166	2.5%	569	8.2%	23.7%	242.7%
当期純利益	163	2.5%	△ 159	−	406	5.9%	26.9%	−

- 2016年3月期は、対前年実績比で増収・増益。 計画対比で売上高を除き予算達成。
  2015年3月期の減損損失計上等の特殊要因もあり、当期の各利益は大幅に増加となる。
- 売上高については、医療機器事業は主力のコンドームを取り巻く環境は厳しい状況が続き、伸び悩むものの、海外市場で増収。メディカル分野は堅調に推移。精密機器事業は景気回復に伴い、国内、海外とも受注は堅調に推移、増収となる。
- 利益については、継続的な生産合理化投資・効率化推進を柱に諸経費等間接部門経費の抑制等を継続し、一部原材料価格の高止まり、適正在庫に向けての在庫評価減処理、販促費投入等の利益圧迫要因があったものの、営業利益・経常利益・当期純利益とも大幅に増益となる。

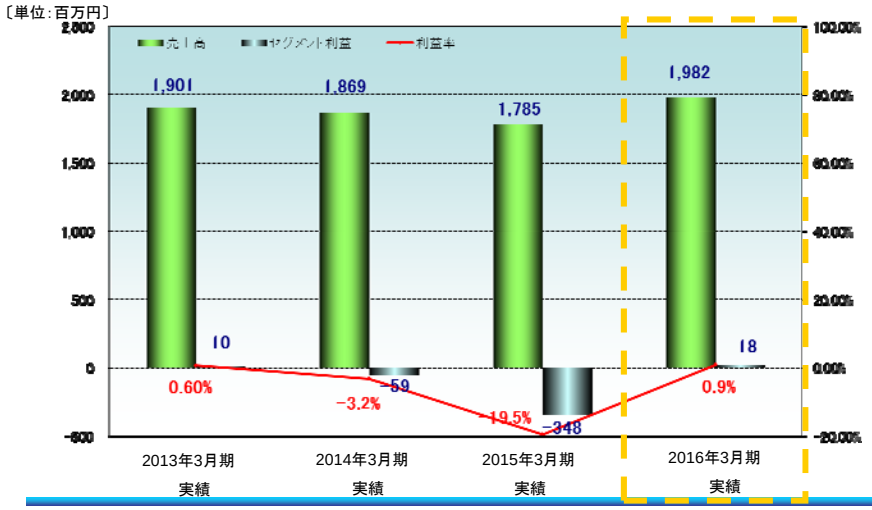
事業セグメント別　売上高・セグメント利益

〔単位:百万円〕

事業セグメント		14/3	15/3	16/3	15/3比増減
医療機器	売上高	1,869	1,785	1,982	196
	セグメント利益	△59	△348	18	367
精密機器	売上高	3,979	4,289	4,253	△35
	セグメント利益	839	857	944	87
S　P	売上高	438	491	517	25
	セグメント利益	△30	3	12	8
その他	売上高	123	142	155	12
	セグメント利益	△9	15	31	15
連結合計	売上高	6,411	6,709	6,908	199
	セグメント利益	405	180	652	471

医療機器事業　売上高・セグメント利益

医療機器事業

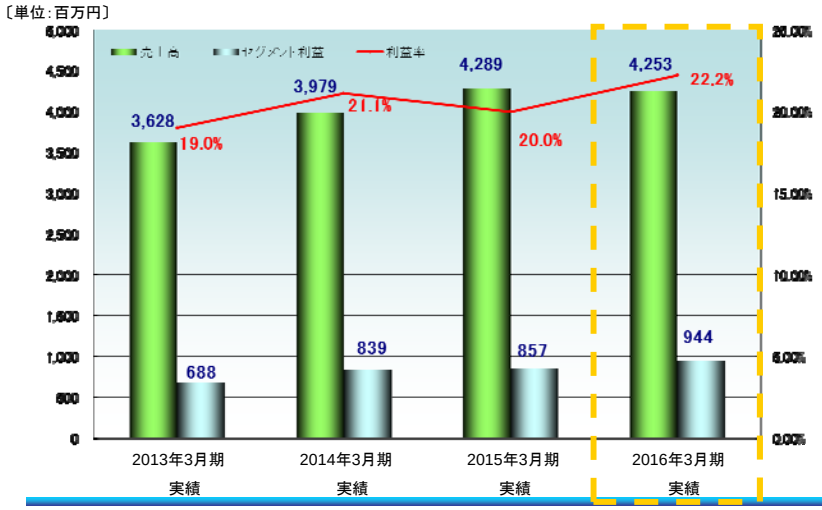


医療機器事業について

- 売上高は前同期比１１．０%増収、セグメント利益は18百万円と黒字化
- 主力コンドームは市場縮小継続　新素材製品にシフト、価格の２極化
- 海外販売強化　主にアジア（中国）向けの安定的受注を確保し売上増
- 日本初新素材使用コンドーム　新製品「SKYN」販促に継続的に注力
- コンドーム売上高は国内苦戦も、輸出は増収に転じ粗利益率改善
- 冷却商品はアイテムを絞込み利益重視、需要一巡し苦戦も増収増益
- メディカル製品（医療用バルーン、感染防止用カバー）は堅調に推移
- 設備更新・合理化推進で原価低減、増産・増収効果寄与し利益確保

精密機器事業 売上高・セグメント利益

精密機器事業



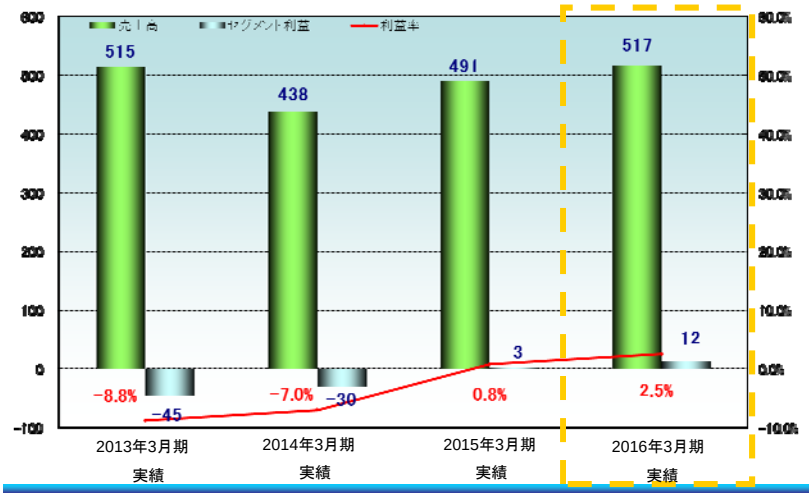
精密機器事業について

- 売上高は前年同期比0．8%減収、セグメント利益は10．2%増益
- 国内売上高7．3%増、海外売上高22．6%減、国内受注は極めて堅調
- 国内市場は住宅設備関連、自動車、家電関連が伸長、受注は安定
- 海外売上は大手取引先の在庫・生産調整等により受注低迷し減収
- 継続的な海外向け新規受注活動に成果、大型の受注確保に展望
- 主力の小型樹脂ダンパーに加え大型産業用等への需要も増加
- 全自動生産ライン増設により増産体制構築とコストダウンに成果
- 生産能力増強に向けた工場の増設を決定し着工、10月完成予定

SP事業　売上高・セグメント利益

SP事業

〔単位：百万円〕



SP事業について

- 売上高は前年比5．3%増収、利益は221．4%増益
- 景気回復に伴い広告・販促活動・イベントは持ち直し傾向に
- 従来水準に届かないが、ヘリウムガス供給量は回復傾向
- 主力のゴム風船、フィルムバルーンの販売は徐々に回復
- 市場の本格回復は流動的、一方で好転の兆しもみられた
- 低迷していた業績は底を脱し、黒字基調に転換

2016年3月期 貸借対照表

〔単位:百万円〕

	14/3	15/3	16/3	15/3比 増 減
流動資産合計	5,447	5,252	5,227	△24
固定資産合計	3,274	2,942	3,345	403
資産合計	8,730	8,201	8,577	376
負債合計	6,479	6,075	6,078	3
純資産合計	2,251	2,125	2,498	373
負債純資産合計	8,730	8,201	8,577	376

2016年3月期
キャッシュ・フローの状況

〔単位:百万円〕

	14/3	15/3	16/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	492	560	746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155	△94	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	55	△617	△625
現金及び現金同等物期末残高	1,442	1,301	1,272

主な指標推移

〔単位:百万円、人〕

指　標	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3（計画）
設備投資額	251	238	519	727	900
減価償却費	174	189	257	249	290
研究開発費	171	177	204	212	240
有利子負債	4,048	4,224	3,952	3,456	4,200
従業員数（パート含）〔人〕	368	360	357	373	370

2017年3月期 計画と経営戦略

代表取締役社長
伊 藤 研 二

第2次中期経営計画

基本方針；成長戦略の推進

1．収益力の向上

2．構造改革の推進（基盤作り）

「開発投資」「設備投資」「教育投資」の“3積極政策”

〔単位：百万円〕

	2016/3 中 計	2016/3 修正計画	2016/3 実績	2017/3 中 計	2017/3 修正計画
売 上	6,700	7,000	6,908	7,200	7,000
営業利益	400	505	652	500	680
経常利益	370	460	569	450	630
当期利益	200	320	406	230	430

※中計は当初計画であります。

2017年3月期 会社方針

1. グローバル市場への対応力強化

2. 生産革新によるQCDの追求

3. 人財育成

2017年3月期業績見通し

〔単位:百万円〕

	2017年3月期 計画			上　期		下　期	
	金額	売上高比	対前年増減率	金額	対前年比	金額	対前年比
売上高	7,000	100.0 %	1.3 %	3,450	△1.4%	3,550	4.2%
営業利益	680	9.7 %	4.3 %	330	1.6%	350	7.0%
経常利益	630	9.0 %	10.6%	310	2.9%	320	19.2%
当期純利益	430	6.1 %	5.8 %	200	△2.5%	230	14.3%

セグメント別実績・計画

〔単位：百万円〕

	売上高				営業利益			
	2016/3 実績	2017/3 計画	増減	増減率 %	2016/3 実績	2017/3 計画	増減	増減率 %
医療機器	1,982	2,200	218	11.0	18	80	62	344.4
精密機器	4,253	4,200	△53	△1.2	944	950	6	0.6
S P	517	500	△17	△3.3	12	20	8	66.7
その他	155	100	△55	△35.5	31	10	△21	△67.7
合計	6,908	7,000	92	1.3	652	680	28	4.3

FUJI LATEX 不二ラテックス株式会社 医療機器事業（国内）の現状

1. コンドーム市場 は 付加価値製品、インバウンド需要 ⇒ 売上堅調に推移
2. 薄型コンドーム ⇒ 市場を牽引
3. 新素材ポリイソプレン製コンドーム “SKYN”
   ⇒売上堅調に推移
4. 開発製品⇒新規チャネル開拓
5. メディカル事業の新用途開発品・新素材製品
   ⇒売上好調に推移

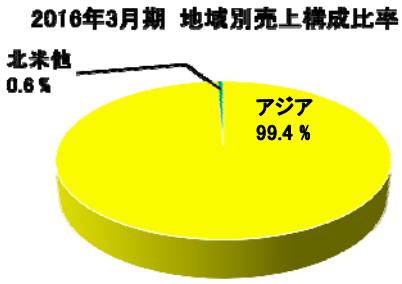
医療機器事業（国内）の戦略

1. 薄型コンドーム・付加価値製品に注力
2. 販促強化及び生産性の最大化を推進
3. 安眠ウォーター枕　“S-sleep”
   ⇒新チャネルへの販売強化
4. 医療用バルーン・感染防止用カバーに
   新素材製品の市場投入

コンドーム・海外の現状と戦略

現状

1. 薄型コンドーム
   販売強化
2. 日本製品
   需要急増



戦略

1. 薄型コンドーム増産
2. 販売チャネルの見直し

FUJI LATEX
不二ラテックス株式会社

“もち肌”コンドームSKYN®

やわらかくて伸びがいい、新素材iRを使用。

23

FUJI LATEX
不二ラテックス株式会社

“もち肌”コンドームSKYN®

やわらかくて伸びがいい、新素材iRを使用。

JIS K6253を参考にゴム硬度計タイプAを使用して測定。

2013年当社調べ。

24

FUJI LATEX
不二ラテックス株式会社
THE BEST CONDOM STRONG
ザ・ベストコンドームストロング
0.01mm コンドームの厚さ10倍! それは即ち
タフを10倍!!
男は黙ってこれ一択!
薄さよりも男らしさを追求! 連載の0.1mm コンドーム
葵つかさちゃん
THE BEST
0.1mm STRONG
男のストロングスタイル0.1mm
厚さ0.1mmのストロングコンドーム
精悍なブラックカラー
気になるゴムのにおいをカット
うるおいゼリーつき

FUJI LATEX
不二ラテックス株式会社
WO+MAN CHECK 妊娠検査薬
初めての方でも簡単・正確に判定結果がでる妊娠検査薬です。
初めての方でも簡単チェック!
ONE-STEP PREGNANCY TEST
「ウー・マン チェック」は、尿中のhCGを検出する妊娠検査薬です。
初めての方でも簡単に、正確な判定結果を得ることができます。
1回用
2回用
99%以上の正確さ
約1分から判定可能
1日中いつでも検査可能
FUJI LATEX

Motion Control & Design 精密機器事業（国内）の現状

“小型樹脂ダンパー受注好調”

＜主要マーケット＞

1.住宅設備業界

2.自動車業界

3.家電業界

Motion Control & Design 精密機器事業（国内）の戦略

1. 小型樹脂ダンパー・小型ロータリーダンパー ⇒ 用途開発の推進
2. 新市場向け新製品発売
   ⇒ MRFダンパー、新型揺動ダンパー
3. 制振機器販売強化
   ⇒ 制振ソリューションをキーワード
   B to B 向け販売強化

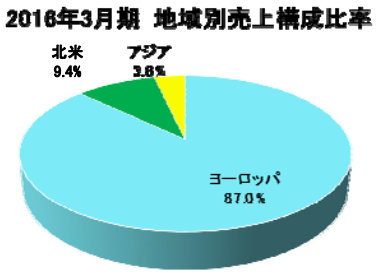
Motion Control & Design 精密機器・海外の現状と戦略

現状

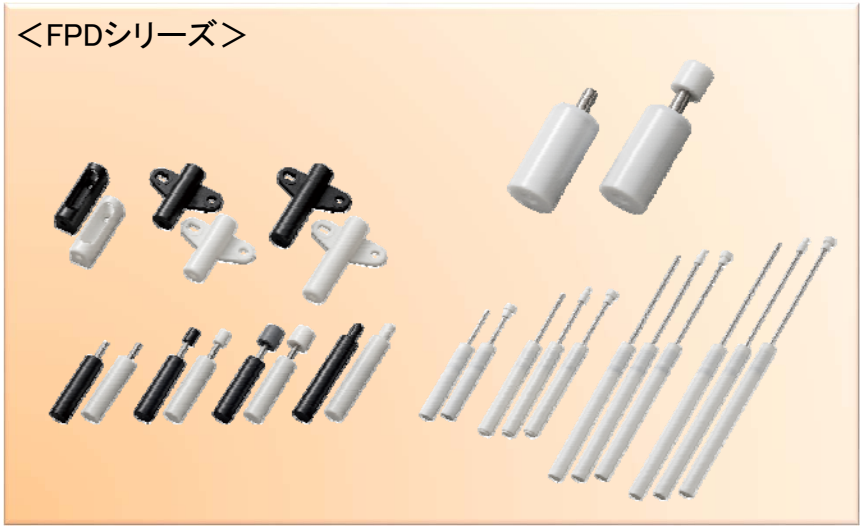
1. 欧米・中国の需要増加
   住宅設備・自動車業界
2. 欧米の販売チャネルの増加
   海外展示会⇒小型樹脂ダンパー出品

戦略

1. 海外代理店の強化
2. 欧州代表事務所の設立



Motion Control & Design 小型樹脂ダンパー製品群



Motion Control & Design 不動王キャスターストッパー

キャスターストッパー取付け例

大型キャスターストッパー

SP事業の現状と戦略

現状

1. テーマパーク向け ⇒ フィルム風船販売
2. バルーン主体の売上構成

戦略

1. 国内外のテーマパーク、競技場 ⇒ 商品を販売
   フラワーマーケットとの共同による商品の企画販売
2. 商品の企画開発、輸出入、販売
   ⇒ 美容・リラクゼーション・フットウエア・エンターテイメント

目標とする経営指標（連結）

財　務　指　標	17/3	18/3	19/3	目　標
自己資本比率	33.0%	34.0%	36.0%	40.0%
ROE（自己資本当期純利益率）	18.5%	20.0%	21.0%	22.0%
ROA（総資産経常利益率）	7.5%	8.0%	9.0%	10.0%

IR担当窓口

連絡先： 不二ラテックス株式会社

経営統轄本部　熊井英幸

Tel 03-3259-2512　Fax 03-3293-5690

このプレゼンテーション資料は、2016年 6月10日現在、弊社が入手可能な情報と独自の予測・判断に基づいて作成したものです。従いまして確実性を保証するものではなく、弊社を取巻く事業環境の変化によっては将来見通しに差異が生じる場合がございます。以上ご理解いただきますようお願い申し上げます。